

みずほCustomer Desk Report 2023/01/05号(As of 2023/01/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	131.01
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	131.30	1.0546	138.47	1.1981	0.6725
SYD-NY High	132.71	1.0635	140.74	1.2088	0.6886
SYD-NY Low	129.93	1.0541	137.89	1.1960	0.6718
NY 5:00 PM	132.66	1.0605	140.73	1.2059	0.6839

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,269.77	133.40	日本2年債	0.0300%	0.0000%
NASDAQ	10,458.76	71.78	日本10年債	0.4500%	0.0400%
S&P	3,852.97	28.83	米国2年債	4.3545%	▲0.0248%
日経平均	25,716.86	▲ 377.64	米国5年債	3.8445%	▲0.0608%
TOPIX	1,868.15	▲ 23.56	米国10年債	3.6893%	▲0.0619%
シカゴ日経先物	25,860.00	45.00	独10年債	2.2655%	▲0.1075%
ロンドンFT	7,585.19	31.10	英10年債	3.4885%	▲0.1595%
DAX	14,490.78	309.11	豪10年債	3.9040%	▲0.1270%
ハンセン指数	20,793.11	647.82	USDJPY 1M Vol	14.81%	▲0.06%
上海総合	3,123.52	7.00	USDJPY 3M Vol	13.10%	▲0.05%
NY金	1,859.00	12.90	USDJPY 6M Vol	12.08%	0.00%
WTI	72.84	▲ 4.09	USDJPY 1M 25RR	▲1.51%	Yen Call Over
CRB指数	264.17	▲ 6.01	EURJPY 3M Vol	12.32%	▲0.10%
ドルインデックス	104.25	▲ 0.27	EURJPY 6M Vol	11.73%	▲0.01%

東京	前日(3日)の米長期金利低下一服後から、じりじりとドルが買われ、ドル円は朝方131.50手前まで上昇一巡後、戻り売りに上値を抑えられ131.30レベルで東京時間オープン。仲値にかけては、売り買い交錯する展開に131円を挟んでもみ合った後、時間外米長期金利の低下を横目にドル売りが先行。130円後半にレンジを切り下げた後、130.77レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は130.77レベルでオープン。クロス円が堅調に推移するなかでドル円は連れ高となり、上昇。一時130.96まで切り上げて、130.83レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では前日(3日)のドイツに続きフランスのCPIが予想を下回ったものの、独仏伊のサービス業PMIが予想を上回ったことや、米金利が低下する展開にドル売りが優勢となりドル円は一時129.93まで下落し、130.83でNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が暫く続くが、その後発表された米12月ISM製造業景況感指数が予想をやや下回り、支払価格が39.4と1975年以来の低水準まで低下したが、雇用指数が4か月ぶりの水準で景気分岐の50も上回り、同時に発表された米11月JOLT求人が予想を上回ったことからドル買いが優勢となり131.90まで上昇する。その後もクロス円が上昇する動きに下値をサポートされ、132.71まで上昇する。午後はFOMC議事録では特段のサプライズはなかったことからドル円の反応は限定的となり、132.66レベルでクローズした。一方、海外市場でドル売りが優勢となり、ユーロドルは1.0635まで戻し、1.0608レベルでNYオープン。朝方は再び1.0628まで戻す局面もあったものの、米ISM製造業景況感指数やJOLT求人結果を受けドル買いが優勢となったことから1.0581まで反落する。その後はFOMC議事録に対する反応も限定的となり、1.06ちょうどを挟んでレンジ推移が続き、1.0605レベルでクローズした。

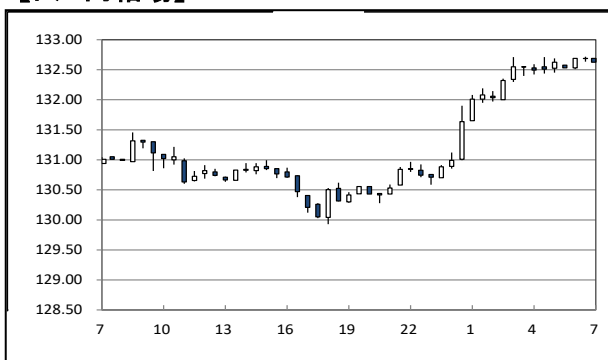
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月4日	17:55	独 サービス業PMI(確報値)	12月 49.2	49.0
	18:00	欧 サービス業PMI(確報値)	12月 49.8	49.1
1月5日	00:00	米 ISM製造業景況指数	12月 48.4	48.5
	00:00	米 ISM支払価格	12月 39.4	42.9
	00:00	米 ISM雇用	12月 51.4	48.4
	00:00	米 JOLT求人	11月 10,458k	10,050k
	04:00	米 FOMC議事要旨	高インフレは想定より根強くなる可能性あり	

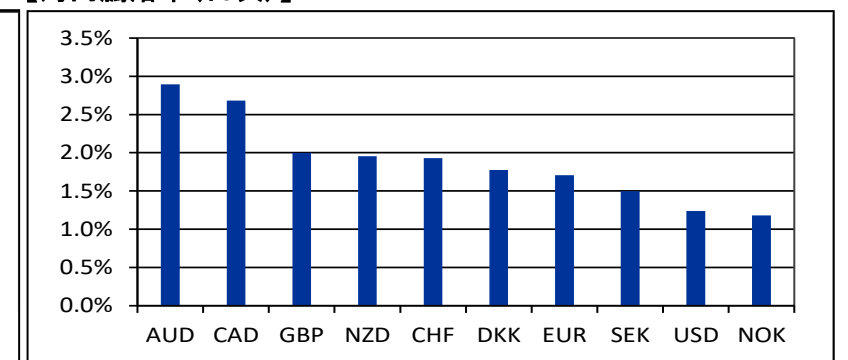
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月5日	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	11月 -0.8%/27.5%	-2.9%/30.8%
	21:30	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	22:15	米 ADP雇用統計	12月 150k	127k
	22:30	米 貿易収支	11月 -\$63.0b	-\$78.2b
	22:30	米 新規失業保険申請件数	31-Dec 225k	225k
	23:20	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
1月6日	03:20	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.00-134.00	1.0500-1.0700	139.00-142.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場では、ドル買いが優勢となりドル/円は132円半ばまで上昇した。欧州時間は一時130円を割り込む場面も見られたが、その後は買い戻しから反転上昇した。NY時間に発表された労働指標が予想を上回ったことや深夜に発表されたFOMC議事録の内容が高インフレの継続懸念を示すものだったこともドル/円の上昇を加速させた。本日もドル/円は上昇すると予想。昨晚のFOMC議事録の内容を受けて利上げ継続期待からドルが選好されやすいと考えている。また、今晚も米雇用指標の発表があり、予想のように前月比強い結果となれば昨晚のようにドル/円の上昇を後押しする材料となるか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 尾身・木村